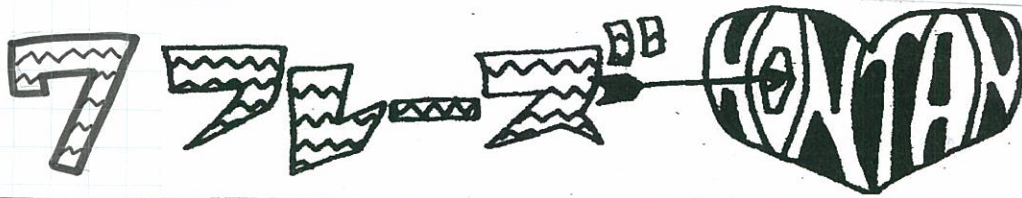


# HONTAN

図書館ボランティア HONTAN が、  
旬の図書館情報をお知らせします。  
2014年10月号 (第50号)



本を読んでいるときに、  
気になるフレーズがあった時は  
すぐにメモしましょう！  
忘れちゃいますからね！(笑)

伊え上のおすすめ！ 『四畳半神話大系』  
森見登美彦 913.6/M  
「腰の据わっていない秀才よりも  
腰の据わっている阿呆の方が  
結局は人生を有意義に過ごすものだよ」

七味のおすすめ！ 『Another』  
綾辻行人 913.6/A  
「気をつけたほうが、いいよ。  
もう始まっているかもしれない」

あんこのおすすめ！ 『セイジ』  
辻内智貴 913.6/T  
「百年ながらえるより、  
一瞬でいいから俺は  
生きたいと思うことがあるよ」

きいのおすすめ！ 『トッカン  
特別国税徴収官』  
高橋洋 913.6/T  
「頭に血が上っちゃって、  
問答無用でまっげエクス  
ゴとひんむいてやった」

まっすーのおすすめ！ 『僕の小さな奇跡』  
入間人間 913.6/I  
「あなたのこと全く好きではないけど  
付き合ってもいいわ。その代わりに、  
わたしをちゃんと守ってね。理想と  
して、あなたが死んでもいいから」

Cielのおすすめ！ 『西の魔女が死んだ』  
梨木香歩 913.6/N  
「ニシノマジョカラ ヒガシノ  
マジョへ オバアキャンノタマシ  
ダッシュッ、ダイセイコウ」

かなづちのおすすめ！ 『しあわせのパン』  
三島有紀子 913.6/M  
「かこわるい自分を知ってる人が  
大人だと俺は思います」

今回のHONTANフレーズのテーマは、  
**「なんだこの一言は…!!」**です。  
思わず二度読みしてしまっただ一言、作者の言葉選びが絶妙な一言等、  
とにかくHONTANメンバーが、「なんだこれは…!!」と  
驚いた一言が大集合ですよ。



## 『約束』 石田衣良 913.6/I

親友を突然うしなした男子、リストラに晒され、息子に侮蔑されながらも  
日常に踏みとどまり続ける父、不登校を続ける少年が出会った廃品  
回収車の老人、女手一つで仕事を抱えながら育てた息子を襲った  
思いがけない痛。誰の身にも起こりうるさまざまな絶望や苦しみ  
の局面。そんな人生の難局から、小さな希望の光を求めて立ち  
上がろうとする人々の姿を切り取った短編集。  
七くなったたり、病気になるったりする身近な人が出てきて、いろいろと考える悩む人々が題材となっている  
のですが、最後はほんとにラストに必ずなっているため、安心感をもってじっくり読み進めたい作品です。  
まさに秋にぴったりのセンチメンタルな作品です。絶望や苦しみ悲しみ、そんな中に立たされた時  
には、きっと目の前が真っ暗になって、生きることが辛くなると思います。それでも周りを見わたすと  
きっと誰かが手をさしのべて、自分を支えてくれるはず。どのストーリーを読んでも心に  
ひびく言葉があって、いろんなことを考えさせられました。  
物語だけでなく、「あとがき」も読んでみてほしいです！

< 伊え上 >



# 『ダ・ヴィンチ・コード 上』 ダン・ブラウン 933.7/B-1

ある夜、ルーヴル美術館で当館長の異様な死体が発見された。その死体は、ダ・ヴィンチの最も有名な素描(ウイトルウィウス的人体図)を模した形でグランド・ギャラリーに横たわっていたのである。殺害当夜、館長と会う約束をしていたハーバード大学教授のラングドンは、警察より捜査協力を求められるのだが……。

アメリカの作家ダン・ブラウンといえば、そう！『ダ・ヴィンチ・コード』が大ヒットした作家ですよ。モナリザがじっとこっちを見つめるあの表紙を、本屋さんで一度は見たことがあるはずですよ。『ダ・ヴィンチ・コード』は「ロバート・ラングドン」シリーズの第2作目の作品です。現在、当シリーズは4作品出ています。どの作品も完結もので絶対にこれから読まなきゃならない！ということはありません。ですが、わたしは『ダ・ヴィンチ・コード』『天使と悪魔』、『ロスト・シンボル』そして最近発売された『インフェルノ』の順番で読むことをおすすめします。話の内容が頭に入ってきやすいと思いますよ。「ロバート・ラングドン」シリーズは暗号やら宗教やら、難しい話や難しい漢字、声に出すと噛みそうになるカタカナがたくさん出てきますが、大丈夫です！そんなことも吹っ飛ばすほどのスリル満点のストーリー展開が、みなさんを待っています。ぜひ読んでみて下さい。

<あんこ>



## ダ・ヴィンチ 10月号

ダ・ヴィンチは様々な小説や漫画等を紹介している雑誌です。今月号の特集は「進撃の巨人が終わる日」と「辻村深月特集」です。「進撃の巨人が終わる日」では、作者である諫山創の生い立ちに密着したインタビューや豪華な作家の方たちと進撃の巨人のキャラクターを描くコラボレーション、そして読者にとってはずとも気になるラストについても触れています。又、「辻村深月特集」では、辻村さん本人のことや『太陽の坐る場所』映画公開記念として、藤巻亮太さんとの対談等が載っています。さらに、本誌での人気連載『あの人とあの本』では歌舞伎の片岡愛之助さん、凛として時雨のドラマであるピエール中野さん、V6の岡田准一さんがそれぞれこだわりのある一冊を紹介しています。

<EI>



## 鍵泥棒のメソッド 778.72/k

突然として物入れ替わる。他の人の靴を、デザインが似ているという理由で履き間違えてしまったり、ワラメートのあの子のリコーダーと自分のリコーダーが知らぬ間に入れ替わってしまったりする様に(私にはそんな経験はないが)。そんな調子で「人生」が入れ替わるのが本作である。売れない貧乏役者の桜井(堺雅人)は、銭湯で転んで記憶を失った山崎(香川照久)からロッカーの鍵を盗み、殺し屋として生きることになる。一方で、記憶を失った山崎は自分を桜井だと思い込み、役者として生きていくことになる。二人の運命はいかに?! 本作の見どころは、桜井と山崎の「豹変」である。どう豹変するかって? それは見てのお楽しみ!

<のぞみ>

## HONTAN - 展示をつけて -

DVD 展示

後期が始まり、だんだんと秋らしい気候になり外出しやすくなりましたね。今回のテーマは、「〇〇の秋」です。読書の秋、食欲の秋、芸術の秋... など、今の季節はたくさんのお楽しみには、ちょうどよい時期です。DVDを見ながら秋を堪能してはいかがでしょうか。

<セ味>

今回の展示テーマは「不思議」です。秋になり、10ウインが近いということで、不思議なお話の作品の帯を選んでみました! コメディ要素のある作品も、仲間に入れたので、不思議好きさんやおもしろ好きさんは、ぜひぜひ立ち止まってご覧下さい!

<りゆう>

帯 展示

あんこのひとりごと

もうすっかり秋です! 朝夜はかかなり冷えるので布団から出づらいですね... 秋の夜長におすすめの本を、誰か教えてほしい今日この頃です。最近、友人が貸してくれた宮部みゆきさんの『長い長い殺人』を寝る前に少しづつ読んでいます。登場人物の財布目録で、ストーリーが語られているので、かぶり新鮮ですよ。もう少しで読み終わるので、次はどんな本を読もうかなあ... と考えています。うーん...

<あんこ>